

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 10月 25日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県吉野郡吉野町宮滝272-3

氏 名 株式会社上田工務店
代表取締役 上田秀幸

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0746-32-8700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 上田工務店
事業場の所在地	奈良県吉野郡吉野町宮滝272-3
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 239,317千 円
③ 従業員数	16人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 (基礎工事) 汚泥→中間処理業者に委託し、脱水後埋立処理 (建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社工事部



工事現場管理責任者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 がれき類	2 建設混合廃棄物
	排出量	719.82 t	8.49 t
	産業廃棄物の種類	3 汚泥	4 廃プラスチック
	排出量	8.21 t	2.52 t
	産業廃棄物の種類	5 木くず	—
	排出量	444.4 t	— t
(これまでに実施した取組) 特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 がれき類	2 建設混合廃棄物
	排出量	700 t	10 t
	産業廃棄物の種類	3 汚泥	4 廃プラスチック
	排出量	5 t	5 t
	産業廃棄物の種類	5 木くず	—
	排出量	400 t	— t
(今後実施する予定の取組) 工法の改善による産業廃棄物の減少			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場に置き場を設け、種類別に管理している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 がれき類	2 木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	719.82 t	444.4 t
	（これまでに実施した取組） 再生砕石他リサイクル品を使用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 がれき類	2 木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	700 t	400 t
	（今後実施する予定の取組） 多彩な再生品の利用を検討する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
（これまでに実施した取組） —			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
（今後実施する予定の取組） —			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1 がれき類	2 建設混合廃棄物
	全処理委託量	719.82 t	8.49 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	8.49 t
	再生利用業者への処理委託量	719.82 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	3 汚泥	4 廃プラスチック
	全処理委託量	8.21 t	2.52 t
	優良認定処理業者への処理委託量	8.21 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	2.52 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	5 木くず	—
	全処理委託量	444.4 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	444.4 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1 がれき類	2 建設混合廃棄物
	全処理委託量	700 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	700 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	3 汚泥	4 廃プラスチック
	全処理委託量	5 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	5 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	5 木くず	—
	全処理委託量	400 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	400 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
	※事務処理欄		